

2月も役立つ講座がいろいろ！

子育てリフレッシュサロン

◆2月8日(木) 10:00~11:30
場 所: 参画センター学習研修室 3
参加費: 無料
託 児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆2月17日(土) 13:30~15:00
場 所: 参画センター相談室
参加費: 無料



シングルマザーの会

◆2月23日(日) 13:30~15:00
場 所: 参画センター学習研修室 3
参加費: 無料
託 児: あり、無料(1週間前までに要予約)



男女共同参画のキーワード

<女性の人権ホットライン>

「女性の人権ホットライン」とは
法務省の人権擁護機関では、女性に対する暴力や差別、ハラスメント、いじめやAV出演被害といった女性の人権をめぐる様々な人権問題についての相談を受け付け、解決に導くための専用相談電話として「女性の人権ホットライン」(0570-070-810(ゼロナナゼロのハートライン))を開設しています。

人権問題に関するその他の相談窓口

法務省の人権擁護機関では、女性の人権ホットラインのほか、みんなの人権110番、こどもの人権110番などの電話相談窓口や、インターネット人権相談受付窓口、LINEじんけん相談なども設置しています。人権について困ったことがあれば、ひとりで悩まずご相談ください。

人権侵害による被害者の救済事例

法務省の人権擁護機関が被害者からの救済の申出を受けて対応した救済事例の一例です。

○夫から妻に対する暴力・暴言

夫から暴力等を受けている妻を一次的に保護しているとして、人権擁護委員から相談があった事案です。法務局が調査した結果、妻が夫に対して強い恐怖心を抱いていることが認められたことから、速やかに婦人相談所に情報提供を

2月さんかく交流サロン

「紙粘土でうさぎ雛の置物をつくろう！」
◆2月8日(木) 13:30~15:00
講 師: 川村真利子さん
場 所: 参画センター 学習研修室 1・2
参加費: 600 円
定 員: 16 人まで
準備物: おしぼり、持ち帰り用の箱(10cm×6cm)



女性のための法律相談

◆2月29日(木) 13:30~15:30
★相談員: 田中 寛子氏(弁護士)
★場 所: 参画センター相談室 B
★参加費: 無料
★定 員: 先着4人(1人30分)
*2月1日(木)9:30から受付します。
★託 児: あり(要予約)



知ってる？



行い、必要な措置を求めました。その結果、妻及びそのこどもは、婦人相談所に保護され、安全が確保されるとともに、関係機関による情報共有が図られ、妻らに対する支援体制を構築することができました。

○講師による受講者に対するセクシュアル・ハラスメント研修の受講者が、講師から、研修中に性的な発言を受けたとして、相談があった事案です。法務局が調査した結果、研修中に、講師が当該受講者に対し、性的な発言を行ったことが認められました。法務局は、講師に対し、当該発言が当該受講者の意に反する性的な言動であって、セクシュアル・ハラスメントに該当することを指摘するとともに、人権尊重の理念等を説明したところ、講師からは反省の意が示されました。



資料: 内閣府「共同参画」1月号

1月の行事から

1/18

さんかく交流サロン 布の端切れを使って かわいいリースをつくろう！

場所: 学習研修室 2 参加者: 2 人
講師: 松田光世(参画センター職員)
春に向けて玄関やリビングに飾るとかわいいリースをカラフルな布の端切れを使って、作りました。参加者は少なかったですが、ふんわりとした雰囲気の中でゆったりとした時間を過ごせました。
(参加者の感想)
「楽しく作れて良かったです」
「次は、手作りアクセサリー等も作ってみたいです」等。



1/22

女性のための就労支援講座 仕事と家庭の両立を考える

場所: 学習研修室 2 参加者数: 5 人
講師: 森井久美子(参画センター相談員)
「異次元の少子化対策・年収の壁対策とは?」「令和の当たり前をアップデート」等、興味深い内容だった。
(参加者の感想)
「令和の情報をアップデートできていなかったのが現状を知れ、これからの生き方を考えるきっかけになった」
「ニュース等で制度と改正について耳にするが、理解できていなかったのが、とても良い機会になった」
「他の参加者と悩み事を共有でき頑張ろうと思った」等

1/22

命を守る防災力アップ講座

もし、深夜に大地震が来たら～命を守る対策を考えておこう！

場所: 参画センター学習研修室1・2・3 参加者数: 50 人
講師: 岩崎 正朔さん(かがわ自主ぼう連絡協議会・会長)
最初に、これまでの防災活動について講話いただきました。また、寝室で被災した時の状態や生き埋め防止策、非常用持ち出し袋に入れておくものの紹介、常に防災対策を考えて避難所や避難路を家族で確認しておくことが大事です。
(参加者の感想)
「自分の家の防災用非常袋を再点検して見ようと思います」
「耐震用ベッドの購入を考えてみたいと思っています」
「水、乾パン、缶詰、ティッシュ等はベッドの下に置いていますが、もう一度見直します」「学んだことを活かして備えたいと思う」等。

*NHK 高松放送局の取材があり、夜のニュースで流されました。

<次回の講座のお知らせ>

★第2回 2月19日(月)13:30~15:00
「在宅避難か、体育館・公民館等か?」
★第3回 3月11日(月)13:30~15:00
「各地域では、どんな防災活動が行われているか」
*お申し込み: 参画センター ☎087-833-2282



トピックス

いきいき・まちづくり講座・男女共同参画週間のキャッチフレーズ募集中！

<いきいき・まちづくり講座>

「終わらない暴力～女たちの戦争と平和」

日時: 3月30日(土) 14:00~16:00

世界中で戦争や紛争が起こる中、当然のように人権が守られていません。とりわけ、弱い立場にある子どもや女性は戦争の恐怖と性暴力の恐怖に怯えています。
性暴力根絶に向け、被害者の方に寄り添い、今一度、性暴力・性差別、過去から続く終わらない暴力について、一緒に考えてみませんか。皆さんのご参加をお待ちしています。

♡場 所: 高松市男女共同参画センター学習研修室 1・2・3

♡参加費: 無料(カンパ大歓迎)

♡託 児: あり、無料、3月20日(水・祝)までに要予約(生後6ヶ月~就学前までの子ども)

♡主 催: フラワーデモ@かがわ・男女共同参画センター

♡連絡先: bakupo58macr2.com (フラワーデモ@かがわ)

♡申し込み・問い合わせ先: 男女共同参画センター
TEL: 087-833-2282



令和6年度

6/23
~
6/29

「男女共同参画週間キャッチフレーズを募集します！」

「男女共に自らの個性と能力を最大限に発揮できる社会を実現していくためのキャッチフレーズです」

応募要項

★応募資格: どなたでも応募できます。応募作品は未発表の自作のものに限ります。

★応募期間: 1月10日(水)~2月23日(金)

★応募方法: 内閣府男女共同参画参画局ホームページからご応募ください。➡

